

飛躍

HIYAKU

第 252 号



東海大学付属高輪台高等学校 学校報

●発行日/2007年2月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS 2007年度本校 推薦入試の実施
感動のヨーロッパ研修 見聞を広めて無事帰国
卒業記念品 夢の電子黒板 アクティブボード2セットありがとうございました。
諸隈良哉君 全国創作コンテスト入選 840点の作品から選ばれる



東海大学付属高輪台高等学校・中等部ここにあり。校名をとり付けた校舎を泉岳寺境内から望む



おしゃれな東海大学学術センターの庭園で5人がT・O・K・A・Iのポーズ(デンマーク)



エッフェル塔を背景に

第26回 付属高校生のための ヨーロッパ研修旅行

本校の生徒10名を含む47名が、11日間のデンマーク、ドイツ、オーストリア、フランスでの研修を終えて12月29日に帰国しました。ヨーロッパの寒さにもめげず、世界史の舞台となる名所、旧跡を訪ね、授業の知識も蘇ったことと思います。また、文化や社会制度の違いなどを実体験し、見聞を広め大きく成長して帰国しました。



パリ、凱旋門前にて

夢の架け橋となる研修



西ヶ谷 麻衣
3年4組 川崎市立宮前平中学校出身

私がヨーロッパ研修旅行で学んだ事は3つあります。一つ目はヨーロッパの歴史と文化の素晴らしさです。ガイドの人が話すその国の話は、歴史と伝統を今も誇りに思い大切にしているのが伝わってきました。二つ目は、建造物の素晴らしさです。どうやって造ったのだろう？と思うほど精密で、日本にはないレンガ造りの家や石畳の道路が多く、それがまた歴史の重々しさを感じさせました。三つ目は、多くの人達と知り合えることの楽しさです。今まで違う学校の人達と話したりする機会はなかったのですが、今回の研修で沢山の友達と交流ができ、楽しい思い出をつくることができました。この旅行に参加できて本当に良かったです。

国と国とがどんなに近くに在っても、やはり雰囲気・建造物や街並みは異なり、その国にはその国の良いところがありました。独自の伝統を貫いてきたのだと思い、毎日心を奪われわくわくしました。最初の訪問国デンマークに着くと、一番最初に私たちは東海大学学術センターに行きました。思っていたより綺麗で、オシャレで、緑豊かな自然に囲まれ、とても落ち着いた環境でした。これが松前重義先生の愛した国なのだと感じ、親しみが持てました。デンマークは私にとってあまり関心のある国ではありませんでした。しかし、今思い返しても一番印象的で、一番好きな国となりました。他にもクロンボー城やフレデリクスボー城にも行き、私たちは時差で眠いのも忘れ、目が覚めるほどの迫力を感じました。建物には建てる人の様々な思いがこもっているものです。事前に下調べをしていたことが大変役に立ちました。下調べもこれから行く場所だと思えば、興味を持って取り組みました。一番印象に残った建造物はドイツのノイシュヴァンシュタイン

城です。山奥の急斜面にそそり立っていました。私たちは馬車に乗って山道を登り城に着きました。氷点下6度にまでなっていました。雪化粧をした城は、それは美しく息を呑むほどでした。ヨーロッパには日本とは違い地震がないのだそうです。町は中世の時代を思い起こさせるレンガ造りが目をひきました。その帰り道、世界遺産にも指定されている大聖堂に寄りました。教会の中は、静寂につつまれ、絵や彫刻があり、ごんまりと落ち着く環境でした。心からこの場所を離れたくないと思いました。時間が限られていたので後ろ髪を引かれる思いで去りました。もっとゆっくり過ごしたかったと今でも残念に思います。クリスマスマーケットはどこもかしこも人で賑わっていてイルミネーションも豪華でツリーも大きく、この景色に見とれ、またこれも一生の思い出です。

この研修に参加している人は皆おだやかで良い人ばかりでした。皆とても話しかけやすく、同じ夢や趣味を持っている人たちでした。そのため共通の話題で盛り上がり語り語りすることができました。また、お互いの学校について話し、他の学校についても知ることができ話がつきませんでした。他校に同じ思い出を共有した友達がいると思うと嬉しいです。

この旅行は私にヨーロッパの素晴らしさを伝えてくれました。この経験はずっと忘れる事の出来ない思い出になり、夢へつなげる架け橋となりました。



デンマークの港町ニューハーウンにて。建物が美しい

SSH活動報告

12月16日(土)、1年生SSHクラスの生徒が宇宙航空研究開発機構(JAXA)と地質標本館で研修を行いました。未来に向かう宇宙開発のしぐみに感動しました。一方、地質標本館ではグループに分かれ見学。ここで生徒は興味を抱いたこと、発見したこと、不思議に思ったことなどをその場で整理し、それをグループ内で相互に発表しあうプレゼンテーションをしました。自分では理解していても正しく伝えることの困難さを感じたようです。これは何度も人前で発表することで次第に身につくスキルです。今後、この経験が生きるように期待します。

最先端の宇宙技術に接する

黒尾 雅人

1年11組 川崎市立大師中学校出身

私が筑波宇宙センターで一番に関心をもったものは、国際宇宙ステーションや、その一部である日本の実験棟「きぼう」の展示品です。縮小化された模型は当然のこと、実物大のものもありました。「きぼう」は大きく分けて3つのスペースに分かれています。室内、室外で活動を行うためのスペースと、保管棟です。その内の1つ、室内実験棟(実物大)の中に入ることができました。筒状の室内には、無重力に対応できるように様々な工夫がされ、活動しやすいようになっていました。上下の区別をするためのラインや、移動するための手すり、誤ってスイッチを押したりしないようにするための金具などです。宇宙での実験は想像もつかないような細心の注意が必要なのだ実感しました。見学ツアーはこの3ヵ所のスペースで、衛星や純国産のロケット、13億円もする宇宙服や宇宙食などは自由に見学できました。

宇宙に対する新しい知識を得て、今回宇宙や科学の先端に触れることができたように感じました。



1着13億円の宇宙服にびっくり

将来、宇宙開発にたずさわりたい

高木 夏海

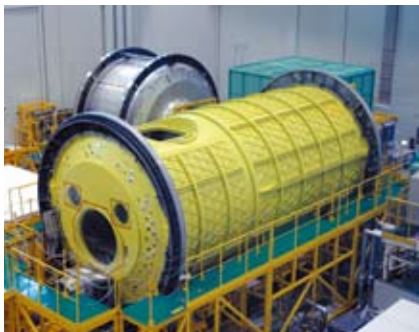
1年11組 川崎市立今井中学校出身

何でも飽きっぽい私が唯一小学生のころから好きでいるもの、それは宇宙です。果てしなく広がる星空は、見ているだけでわくわくしてきます。

今回見学に行ったJAXAは、私の大好きな宇宙の研究・開発を行っている所です。最先端の人工衛星やロケットなど、実際に宇宙に行ったものの実物大模型がたくさん展示してあります。触れることもでき、これが宇宙に飛んでいるんだと思うと宇宙がとても身近に感じ、なんだか嬉しくなりました。

中でも私はISS(国際宇宙ステーション)にとっても興味を持ちました。ISSにはすでにアメリカ、ロシアの実験室があり宇宙実験を行っています。日本の実験モジュールもこれから取り付けられる予定です。実験モジュールとは無重力状態での様々な宇宙実験を行う所です。現在、日本は開発途中です。接合試験などを経て成功すれば宇宙に飛ぶ事になっているそうです。そのときを楽しみにしています。

宇宙開発はまだ研究中の物が多いため、将来私も研究に参加し宇宙への道を拓く人間の一人になりたいと思いました。



国際宇宙ステーションに取りつけられるモジュールの同型

初めて恐竜の糞化石を見る

稲葉 裕基

1年11組 北区立紅葉中学校出身

地質標本館、ここには地質に関する分野のものが多数展示してありました。

私が特に興味をもったものは、恐竜の糞化石です。私は小学生の頃から恐竜に興味があったので、これまで機会があればいろいろな所で様々な化石を見てきました。しかし今まで糞の化石を見たことはありません。ここにあったものは、私の頭ほどの大きさで、触ると石よりも硬くなっていました。その上、何より驚いたことは、私が家で飼っているイグアナの糞と色・形が似ていたことです。恐竜の化石というものは、今から2000万年も前の想像もできないほど昔のものなのに、今でもこのように色や形を残しているのですから驚きです。

そして、その場で友人たちを前にしてプレゼンテーションをしなければなりません。理解したこと、感じたことを的確に相手に伝えられず、戸惑ってしまいました。今後は、もっと内容を相手にわかりやすく伝えられるように努力したいと思います。



地質標本館にて、古代のロマンを熱心に調べる

希望を星につないで

学園オリンピック国語部門で優秀賞に輝いた3年生の諸隈良哉君が、高校生新聞主催「全国高校創作コンテスト」に応募、見事短編小説の部で入選しました。応募作品数は短編小説だけで840点。高い倍率を突破しました。そして2年生の高濱佳彦君が英検準1級に合格しました。二人ともに、希望を星につないで挑戦しました。見事です。本校は英語教育に力を注いでいます。優秀な英語教師と6人のネイティブがいます。全生徒が英語検定試験を受験し、上の級に合格するよう挑戦しています。



諸隈良哉君 第10回全国高校創作コンテスト 短編小説の部で入選 自分の非力に身を引き締める

諸隈 良哉
3年12組
川崎市立塚越中学校出身

「第10回全国高校創作コンテスト」への応募は、そもそも私の自発的なものではなく、文芸研究同好有志の会の顧問であった島貫先生に強く勧められて応募しました。私は今まで学園オリンピック以外のコンテストに応募したことが一度もなく、とまどい躊躇しました。募集要項では、今回のコンテストは高校生だけの募集ということでした。ということは、高校生としての参加はこの機会を逃したら生涯できないと私は、早速先生の推薦を受け、自分の小説を応募することにしました。

入賞者発表の欄に自分の名前を見たときは驚愕でした。選んですらもらえないと思っていましたから。

嬉しさは後からやってきました。840点の作品から選ばれたのです。このコンテストに応募して良かったと感じながら、またひとつ自分の腕に自信がついたような気がしました。

しかしやはり上には上がいるものです。自身を「上」と表記するのはあまりにおこがましいのですが、賞は入選から、佳作、優秀、最優秀と続いていくのです。喜びの反面、自分はまだ入選のレベルなのか、と自分の非力に気を引き締めました。

ですからこれでまた新たな目標が見つかりました。今度は大学でさらにいろいろなことを学び、次回はより上のレベルを目指してこれからも努力していこうと思います。先生方、また応援して下さいたいと思います。



英語検定 高濱佳彦君準1級に合格 英語を生涯の趣味として勉強したい

高濱 佳彦
2年10組
蕨市立第一中学校出身

私が本格的に英語に触れ始めたきっかけは、インターネットでした。

最初は、大好きなアメリカ車の情報収集のためにインターネットを利用していました。そのうちにより多くの情報を求め、自然と海外のページを利用するようになっていきました。さらに趣味であるプラモデルの作品の共有や情報交換のため、アメリカのフォーラムを利用し始め、その中でだんだんと世界中の人たちと英語で交流をする機会が増えていきました。それらはすべて、英語を勉強しようといった考えから始まったものではなく、ひとつの趣味として英語を学び始めたということでした。誰でも簡単に世界のことと触れることのできるインターネットです。これにより視

野が大きく広がったと思うと同時に、すばらしい影響を私自身に与えてくれたと思います。

性格上、あまり追い詰められた状況での勉強は得意ではありません。

これからも英語は趣味のひとつとして、生涯を通して学んでいきたいと思っています。



英語検定準1級の認定書と高濱君の愛読する英語の雑誌

活躍

する卒業生

Active Graduates

2006年卒
保科 知彦
桐蔭横浜大学1年在学

「希望を星につないで活躍する先輩」、昨春卒業したばかりの保科君を紹介します。フィリピンの国籍をも保有する保科君は、本校在学中から、エジプトのカイロで行われた世界柔道大会、嘉納杯など多くの国際大会に出場しました。180センチ、100キロの大きな体躯は、気は優しく力持ちの形容そのままの人柄です。「礼に始まり、礼に終わる」柔道の作法そのものを日常生活にも体現している保科君でした。大会の報告に来た保科君は見聞も広め、また一段と前向きに成長し、まぶしい存在でした。これからの活躍も応援します。

2006年12月2日～6日にカタールのドーハで行われた、アジア大会柔道競技にフィリピン代表として100キロ超級と無差別級に出場しました。昨年の東南アジア選手権三位、フィリピン選手権優勝、ベトナム国際大会三位の結果によりフィリピンから選抜され出場しました。代表として結果を残したいと決意を胸に大会に臨みました。ドーハに到着し、選手村の環境の良さにとても驚きました。産油国だけあって国の豊かさを感じました。また部屋だけでなく、食事や選手のための娯楽施設が充実して

おり、とてもリラックスした状態で生活を送ることができました。そして試合では、100キロ超級の初戦はタジキスタンの選手でした。先制点をとったものの、押さえ込みで一本負けしてしまいました。無差別級でも初戦で同様に先制し裏投げで技有りをとったにもかかわらず、押さえ込みで一本負けでした。悔しい思いだけが残りました。

今回の反省を次回に活かし、2007年ユニバー

シアードや国際大会でよい結果が残せるよう、酒井先生に言われた「己を磨け」を心にがんばります。また、応援していただいた関係者の皆様ありがとうございました。



地域と共に生きる

江戸時代の名残をそこに残す高輪台は観光客も多い町です。この町を美しくと、高輪台町会が、この地域で共に生きる中学・高校3校に清掃ボランティアを呼びかけました。本校からは福祉委員会がこれに応じてボランティアとして参加しました。無償の行為の価値あることに胸を熱くしたようです。

ボランティアの喜び



松田 麻里

2年4組 大田区立蒲田中学校出身

「ありがとう」その言葉を聞いてあなたはどう思いますか？きっと誰でも嬉しく感じる事でしょう。

先日、私は福祉委員として地域で行う清掃ボランティアに参加しました。このボランティアの目的は、地域の人達との交流を深め、私達の地球をキレイにしようというものでした。通学路としている高輪学園、高松中学校、東海大学付属高輪台高校の3校と地域の人達で清掃活動をしました。最初面倒くさくてやる気があまり出ませんでした。それが、みんなと共にゴミを拾って

くうちに段々と夢中になり、気づけば友達とどっちがより多くのゴミを拾えるか勝負していたほどです。その時でした。そんな様子を見ていた通りがかりの人が「掃除してくれているんだねえ。ありがとう。」と言ってくれました。私はこの言葉を聞いて嬉しくなりました。

地域を美しくするという事はもちろんみんなのためでもあるけれど、結局は自分のためになると私は考えます。「ありがとう」、何気ない一言ですが、なんだか胸のあたりが温くなって心に深く染み入りました。皆さんにも是非次回のボランティア活動に参加して、この喜びを味わってもらいたいと思いました。それにしても、お菓子の空き箱、空き缶、ガムの吐き捨てなど心ない人のゴミが一杯になりました。そして、白金高輪駅の近くの貴重な文化財「旧細川邸シイの木・赤穂浪士の遺跡」の存在も再確認しました。

2006年度卒業記念品を寄贈していただきました

記念品

アクティブボード1B-78 2体
 付属機器として液晶プロジェクター 2器など

授業改革および学校改革に役立たせていただきます。

今年度も卒業記念品を繰り上げて寄贈して頂きました。アクティブボードとは耳慣れない名前ですね。テレビの天気予報などで使用している映像を思い出して下さい。画面に表示された天気図に雲や雨、晴れのマークを書き入れ、それを瞬時に消去し、また元の映像に戻すというあの技法です。教科書やプリントをボードに映し出し、手書きを加えることも、それを瞬時に消去して元の映像に戻すこともできます。黒板に板書した内容は一度消すと再生できませんが、この機器は、何を書き込んでも何度でも再生できます。夢の黒板です。電子黒板ともいわれています。生物実験室と化学実験室に設置します。難解と思われがちな理科の授業が変わるはずですよ。この機



器によって授業改革を推し進め、さらに学校改革に役立たせていただきます。

卒業生のみなさん、保護者の皆様ありがとうございます。

なお、同じ機器2基を学校予算にて中等部の教室にも設置します。

知的財産特別授業 ユニバーサルデザインを創り出そう 優秀作品は表彰

本校では知的財産教育を、1年生は高校現代文明論の中で、2・3年生はホームルーム活動の中で学びます。12月、工藤教諭が2年生を対象に「知的財産の創造」について特別講演を行いました。1年生で学んだ「知的財産権」を確認し、さらに次の過程としての「創造」について、どのようなものづくりが必要なのかなどをパワーポイントで説明を受けました。身近な人物が映像に写し出されたこともあり、生徒は興味深く学びました。生徒の想像力に期待します。



知財教育推進委員会 / 地歴公民科 2年8組担任 工藤 優樹

知的財産教育とは、3つの基本要素からなっています。それは実際に知的財産を創る「創造」。そして著作権など知的財産権について学ぶ「保護」。さらに起業家精神教育としての「活用」という内容です。知的財産については、1年次に現代文明論の中で著作権についてすでに学習しておりますので、今後、「ユニバーサルデザインを考える」というテーマで知的財産を創る活動を行います。誰もが必要とするもの、誰もが便利さを実感し、使いやすい製品、これが「ユニバーサルデザイン」です。障害者、高齢者、子供、妊婦など社会的弱者の人たちが使いやすい道具です。みな

さんが社会福祉について考えるきっかけにもなるだけでなく、実はモノづくりの原点となる重要な要素がたくさん含まれているのです。知的財産を創る過程を学ぶのには最適のテーマの一つです。皆さんはホームルーム活動の時間を使って作品を作ります。ぜひとも素晴らしい作品が出来ることを期待しています。優秀な作品は表彰するとともに、学園オリンピック知的財産部門にも推薦します。



牛乳パックは開けづらい。こんな不便なところからアイデアが

進学相談会開催

1月13日(土)、生徒と保護者を対象にした「東海大学進学相談会」を実施しました。学校法人東海大学の三大学と二短大の教職員20名によるそれぞれの学部・学科の説明会です。学問の内容、将来性などについて真剣に耳を傾けていました。相談会は例年、岐路に立つ高校生の進路決定の役に立っているようです。3月には付属高校生のためのオープンキャンパスもあります。ともに参考にして進路を決定し、その道に向けて努力をしてください。



夢を実現するため、いろいろ体験し知識を身につけたい

近藤 明香

2年7組 目黒区立東山中学校出身

私は中学生の時から保育士になりたいと夢に描いていました。そのため、進学相談会では、静岡にある東海大学短期大学部の話を聞かせていただきました。この学部には、保育士資格、幼稚園、小学校教諭免許の3つを取得できる学科があるとわかりました。大学でも、3つ取得できるのはめずらしく、しかも、全国の短期大学では、東海大学だけと知りました。私の第一の希望は保育士になることですが、ほかの免許も取得できるということで将来への視野、

可能性が広がっていくように思いました。私は、少しでも早く実際に職につき、経験をつんでいきたいと思っていました。私にとっては願っていたとおりの大学です。児童の気持ちを理解し、さまざまな面で指導できるように、これからいろいろな体験をし、知識を身につけたいと思います。そして今後社会人となったときに役立てていきたいと思っています。

短期大学は2年間という短い期間です。とても凝縮された忙しいカリキュラムになっています。そのため、授業についていけるように3月の期末試験、4月の学園基礎学力定着度試験で学力をつけ、大学へ進みたいと思います。

高輪短大 INFORMATION



キャリア・インフォメーションのスタッフと佐藤先生(中央)

夢の実現に向かって

情報・ネットワーク学科 助教授(進路生活支援委員長) 佐藤 弘幸

に関する授業を担当していますが、本学学生の進路決定や学生生活を支援する仕事もしています。

今年度卒業予定の2年生のうち、約50%の学生が就職を、約40%の学生

が編入学を希望していますが、どの学生も着実に自分の夢を実現しています。就職にも編入学にも強いのが本学の特徴ですが、その秘密を少しだけ紹介します。

きめの細かい学生指導を行うため

に、ひとつのクラスを2人の指導教員が担当しています。また、面接・筆記試験対策の講座に加えて、それぞれの学生の希望や適性に合った進路先・活動方法を指導するための「ソリューション 세미나」や「キャリアデベロップメント」という授業も開講しています。

あなたも夢の実現に向かって、高輪校舎で学んでみませんか? もちろん、そのときは私たち教職員がしっかりとお手伝いすることを約束します!

「第一希望の会社に内定しました!」という元気な声とともに、活気に満ちた笑顔の学生が本学のキャリア・インフォメーションオフィス(進路指導室)に飛び込んできます。現在、私はプログラミングやネットワーク

お知らせ

歴代の卒業記念品などを記した銘板

歴代卒業生からは卒業記念品を、また後援会からは建学祭などの収益金をご寄付いただいております。学校はこれでご寄付で生徒に還元できる備品などを購入し、設備の充実をはかっております。みなさんに感謝の意を表して、代々の卒業記念品、備品などを記したボードを生徒玄関ホールの壁面に取り付けました。保護者の皆様も登校なされた折にはぜひご覧ください。



5教科 基礎力判定テスト(1・2年生)

■ 日程 2月16日(金) ■ 試験科目 国語・地歴公民・数学・理科・英語
 これまでの学園テスト、外部テスト、中間・期末テストを再度見直して復習を!!

行事予定

February 2月

March 3月

- 1日(木) 中等部第1回入試(生徒自宅学習日)
- 2日(金) 中等部第1回入試合否発表
- 3日(土) 中等部第2回入試
- 4日(日) 中等部第2回入試合否発表
- 5日(月) 朝礼
- 7日(水) 月曜日の授業
- 8日(木) 学年集会(2年)
- 10日(土) 高校一般入試
- 11日(日) 建国記念の日
- 12日(月) 振替休日、高校一般入試合否発表
- 13日(火) 月曜日の授業、高校一般入試手続
- 15日(木) 生徒による授業評価アンケート(1・2年)
校医相談日(16:30~17:30)
- 16日(金) 基礎力判定テスト(5教科、1・2年)
- 20日(火) 専門医によるカウンセリング
- 23日(金) 登校日(3年)

- 2日(金) 3年生を送る会、高輪会入会式(3年)
- 3日(土) 第58回卒業証書授与式(10:00~)
- 5日(月) 期末試験(1、2年)(~8日)
- 9日(金) 採点日(生徒自宅学習日)
- 10日(土) 付属高校生のための東海大学オープンキャンパス(2年)
- 12日(月) 答案返却、教科書販売(新3年)
- 15日(木) 修了式、離任式、教科書販売(新2年)
- 21日(水) 春分の日
- 22日(木) クラス分け試験(新1年)
基礎学力判定テスト結果補習(1、2年)(~28日)
国語(22日) 数学(23日) 理科(26日)
地歴公民(27日) 英語(28日)
- 24日(土) 後援会委員総会

放課後の様子



編集後記

安藤美姫がメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲によって華麗に氷上で舞った。短調のこの曲は心情によっては哀しくもあり、また時には透明感のある明るい曲にも聞こえる。私事で恐縮であるが、学力の低迷に悩み、淡い初恋に胸を焦がした高校時代に出会った曲である。他にシューベルトの「冬の旅」にも。彷徨する青年が私の苦悩と共鳴し癒してくれた。その一方、太陽が燦々と輝くナポリ民謡の甘いテノールにも心底、陶醉した。相矛盾するような感覚も、自己の青春のなかで混在してひとつも不思議ではなかった。過ぎてしまえば懐かしい青春である。3年生が、いよいよ後一月で卒業。心はどのように揺れたらうか。悲喜こもごもすべてを肥やしにするという。自分を探すといい。(ゆ)